

奥の細道むすびの地「大垣」十六万市民投句

小中学生の部



令和七年四月度 入賞句一覽 投句数 三百十句

特選

遠藤 幹郎 選

さくらにはゆめがいつぱいつまってる 大垣市 柳瀬 紅葉(小二)

「ゆめがいつぱいつまってる」がいいですね。折も折、桜さく小学校の入学式。新しい小学校生活に向けてゆめと希望に胸をふくらませている姿がうかがわれる一句です。さくらは、作者にとつてどんなかわりがあつたのでしょうか。これからあらたなゆめをかなえていつてくください。

さくらがねひらひら川にとびこむよ 大垣市 田中 茉那(小三)

「とびこむよ」がいいですね。「川にとびこむよ」から、桜にも散るのを惜しむ気持ちがあるのだと、作者には思えたのでしょうか。作者と桜と花を眺めていたいたい気持ちに想像される一句です。いつまでも美しい

桜咲き自分の心も咲きほこる 加茂郡川辺町 加藤 蒼士(中三)

「自分の心も咲き誇る」がいいですね。満開になつた桜を見て、作者は、何か勇気がわいて来たともいいたいのでしょう。作者にとつて中学校生活最後の年ですね。咲きほこれる充実した一年となるようがんばってください。

秀逸

しゃぼん玉輝いている水の玉 大垣市 高橋 璃子(小六)

たんぽぽが空にむかつてさけんでる 大垣市 野原 千紗子(小六)

友達と探し見つけたクローバー 加茂郡川辺町 工藤 結奈(中三)

風光る陽に包まれたような朝 加茂郡川辺町 中島 由捺(中三)

さくらはねかぜにふかれておどってる 大垣市 中村 朱里(小三)

入選

小中学生の部

とおり雨春の虹あり晴れている

大垣市

松井 應佑（小六）

鳥の巣にたまごがあつて落ちそうだ

大垣市

高橋 茉央（小六）

ある夜にふと外見ると朧月

大垣市

平松 佑悟（小六）

桜散るまたもやきたよこの時期が

加茂郡川辺町

横家 楨基翔（中三）

クラス替え春の楽しみ心配も

加茂郡川辺町

長谷部 唯（中三）

咲きほこる桜の木々たちきれいだな

加茂郡川辺町

三嶋 仁香那（中三）

新学期書き間違える年と組

加茂郡川辺町

嶺川 千晶（中三）

舞つていく花びら高くひらひらと

加茂郡川辺町

長島 瑠依（中三）

泣いてるのこれはただの花粉症

加茂郡川辺町

黒岩 夏帆（中三）

春の朝あたたかい風ふいてきた

大垣市

松浦 初美（小六）

選者吟

はやばやとたたむ屋台や桜冷え

幹 郎

